

11/3 秋季検閲式が行われました

村公民館の駐車場で村消防団の秋季検閲式が行われ87人の団員が参加しました。荒利喜団長は「郷土愛の精神で一丸となり、原子力災害に負けず、安心安全な村づくりに邁進しよう」とあいさつ。一同は俊敏な動作で整列や器具点検を行い村長らの検閲を受けました。村長は講評で「村民をあげて一層の期待と信頼をしております」と述べ、団員に敬意と感謝を伝えました。



直売所「なごみ」で佐須味噌のアツアツ鍋



▲大きな鍋からいい香りが。たくさんの方が味わいました

11/3

村の直売所松川店「なごみ」の収穫感謝祭で、アツアツの山菜きのこ汁と石狩鍋、合わせて約200食が来場者に振る舞われました。鍋に使われた佐須味噌は菅野榮子さん(佐須)の味噌を種味噌に、菅野さんも参加して首都圏の人たちと交流しながら仕込んだもの。また具材には村民が各地で作った野菜もたっぷり使われました。



▲味噌は「佐須の田舎味噌」として販売も

11/3 見守り隊の「ふれあい旗」

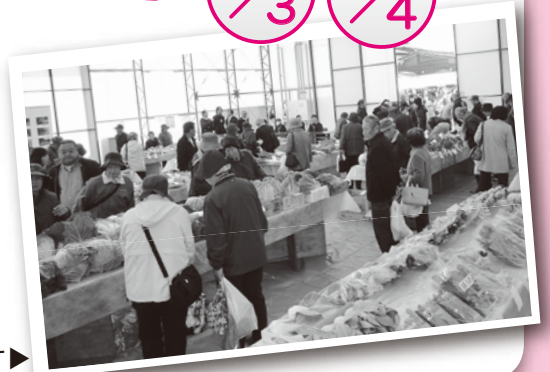
多彩なイベントが行われた南相馬市の「復興あきいち」の会場に、南相馬警察署主催「安心・安全ふれあい旗コンクール」の出品作品76点が展示されました。このコンクールには村20行政区の各見守り隊と見守り隊事務局が合わせて21点を出品。来場者の投票の結果、小宮行政区・白石行政区・事務局のふれあい旗が優秀賞に選ばれました。

警察表彰式は行われ、12日に南相馬市で表彰式が行われ、見守り隊事務局が優秀賞を受賞しました。



村民の野菜も参加「相馬JAまつり」

JAそうま主催の「JAまつり」が相馬市で開催され、物販や芸能発表、来場者が参加するゲームなどでにぎわいました。また農産物共進会のコーナーには組合員が避難先で育てた野菜が並び、出品者の中から高野チヨ子さん(前田・八和木)が村長賞を受賞。庄司勝蔵さん(白石)のキャベツと菅野哲さん(草野)のジャガイモが野菜の部の三等賞に入賞しました。



▲農作物共進会の会場のような様子

健幸づくりイベント「花と歌と健康と」

松川第2応急仮設住宅で開かれたこのイベントでは、筑波大学の久野譜也先生が健康を維持する生活について講演。また歌手の普天間かおりさんが、「戻る時まで元気に過ごしてください」と支援者とともに生花を参加者に贈り、歌も披露しました。花を髪に飾った参加者の一人は「とても楽しい。長生きしたいとね」とにっこり笑顔を見せていました。



髪や胸に花をつけ、華やいだ心持ちで(右端が普天間さん)

11/1 小学校でポリスアカデミー

草野・飯樋・白石小学校で県警察本部主催の「ポリスアカデミー for キッズ」が開かれました。まず非行防止の授業が低・中・高学年別に行われ、その後は校庭で白バイやパトカーなどの警察車両に試乗。また午後からは代表児童が指紋の採取に挑戦したり、音楽隊の演奏が行われたり。体験や触れ合いを楽しみながら全校児童で警察の仕事学びました。



▲校庭にたくさん並んだ警察車両にワクワク

11/2 オペラユニット「レジェンド」のコンサートへ

オペラ歌手のユニット「LEGEND (レジェンド)」のコンサートが福島市の「福島テルサ」で行われ、昨年に引き続き招待された飯館中学校の生徒と村出身の中学生・高校生、保護者たちが、美しい歌声とパフォーマンスを鑑賞しました。アンコールでは何と飯館中学校の校歌を演奏。アレンジされた校歌が豊かなハーモニーで会場いっぱいに響きました。



▲開演前には座席で一緒に記念撮影

◀ジャンルを超えた名曲を演奏

UFOの里復興祭に「どぶちえ」が登場

飯野学習センター前で行われた「UFOの里復興祭」。地元JAによる餅つきやバンド演奏などでにぎわう中、出店が並ぶテントの一角で、佐々木千栄子さん(佐須)のどぶろく「どぶちえ」白狼が販売されました。避難先を村の「どぶろく特区」に含むよう申請したものが認められ、佐々木さんが今年の春から仕込みを再開した商品です。



▲商品を並べ店頭で接客する佐々木さん